

# 山中だより

山中  
キャッチ  
フレーズ

してもらおう  
させられる人から  
する人へ

枚方市立山田中学校 学校通信 第23号

発行 令和3年1月6日 校長 交久瀬善浩

## ◆あけまして、おめでとうございます◆

明けまして、おめでとうございます。本年もよろしくお祈りします。

さて、暦は令和3年となりました。そして、令和2年度の3学期も始まりました。昨年からのコロナ禍は一向に衰えることなく、さらに勢いを増してきています。昨年12月末まで5～8%で抑えられていた大阪府のコロナウィルスの新規陽性率は新年となった1月1日から10%を超えるようになり、3日には14%に至りました。

東京都と比較すると、大阪府の日毎の新規感染者数は少ないですが、それは検査数が少ないからなのです。ちなみに、1月3日の検査数・陽性者数（感染者数）・陽性率を東京都と大阪府で比較すると右表のようになります。

1月3日	検査数	陽性者数	陽性率
東京都	5,811人	816人	12.9%
大阪府	1,812人	253人	14.0%

わかる通り、検査をした人数に対して、実際に感染している人の割合は、大阪の方が高いのです。このことは11月25日の山中だよりも一度書きましたが、この傾向は今も続いています。しかも、11月よりも全国的な状況は厳しくなっています。加えて、イギリスや南アフリカでの変異型の感染力はかなり強いと言われており、イギリス型はすでに日本に入ってきています。子どもの感染者も急増しています。

この状況が続くと、1年生は1月29日に、2年生は2月12日のそれぞれ校外学習が予定されていますが、中止や延期ということも考えられます。

何度も言いますが、手洗い・うがい・消毒・マスク着用・距離の確保等々の感染予防、十分過ぎるということはありませんから、可能な限り行うようにしましょう。

## ◆1・2年生は、チャレンジテスト・3年生は実力テスト3回目があります◆



昨年末もお知らせしましたが、来週1月13日（水）、1・2年生はチャレンジテスト、3年生は実力テストの3回目があります。

チャレンジテストは、1年生：国・数・英の3教科、2年生：5教科で実施します。チャレンジテストの結果は入試の調査書に記載される1・2年生時の評定に影響します。

3年生の実力テストは、業者テストの問題で実施します。1回目2回目の学校で作ったテストとは異なりますので注意してください。

いづれも、とても大切なテストですから、まだ勉強が足りてないと感じている人は、3連休もありますから、しっかりとこれまでの復習をしておきましょう。

## ◆◆考えてみよう◆◆

かなり以前のNHK「おはよう日本」という番組で、『フランスのアルチュール君という9歳の男の子が、自分が描いた絵を売って、そのお金で週に1回、路上生活をしている人へ食べ物を買って配っている。』というニュースを取り上げていました。すごい子がいるんだと思って名前を覚えておいて、ネットで調べてみました。それで見つけたのが次の記事です。読んでみて下さい。

### 「ぼくの、夢」

北フランスはノール県、カンブレ市に住むアルチュールくん、9歳。絵を描くのが大好きです。展覧会をやって、絵を売ったお金でホームレスの人々の支援もしています。  
(裏面へ)

5歳の頃から家の庭や町の文化センター、教会などで絵を売ってきました。12月はドゥエという家から30キロ弱の町のギャラリーで、抽象画をメインに、船や建物のある風景画などを展示しました。どれも鮮やかな色づかい。こんな絵が部屋にあったら雰囲気が明るくなりそうです。一点が3~50ユーロで300ユーロたまりました。



絵を売ったお金で、週に一回、お母さんのペギーさんとパン屋さんでサンドイッチを買い、冬は手袋や帽子、暖かい靴下、鼻紙、カイロなども買って、路上で生活する人たちに渡しに行きます。

家族でバカンスに出かけた時、路上で生活をする人を見てショックを受けたのが、ことの始まりでした。「どうしてフランスの大統領は何もしないの?」と、お母さんに何度も質問したそうです。

多くの人が疑問に思いながら、いつの間にかうやむやにする疑問を、自分なりに考え、そして、ある朝「絵を描いて売ったお金で家を買いたい。路上で寝る人たちがそこで眠れるようにしたい」と、言い出したのだそうです。それから4年間、家を買う夢にむかって、絵を描き続けています。

読んでみてどう思いましたか。5歳のアルチュール君が路上生活する人を見てショックを受け、そこから疑問を持ち、自分で考え、目標を決めて4年間も実際に行動している。何故こんなことが出来るのでしょうか。もちろんアルチュール君のお母さんの影響もあると思います。でもアルチュール君は自分で考えて行動している。そのアルチュール君をお母さんが応援して支援している。おそらく絵を買ってくれる人達もアルチュール君の行動を応援していると思います。

アルチュール君、そのお母さん、そして絵を買ってくれる人、これらの人々が育ってくる社会土壌、社会文化的の背景、教育の在り方等々がどうなっているのか。あなたなりの答えを考えてみましょう。

そして、自分の生き方、目指すべき将来の日本という国のあり方、地域社会等々について、あなたの理想を創造・実現していきましょう。これからの国や社会を築いていくのは、あなた自身だということを強く自覚して!!



### ◆◆もう一つ考えてみよう◆◆

今度は日本の中学生です。次の記事は、朝日新聞デジタル版で見つけました。読んでみて下さい。

#### 「西から昇ったおひさま」見えるのだ 中3の計算が表彰

朝日新聞 DIGITAL より

「西から昇ったおひさま」が見たい!! 青森県弘前市の弘前大学教育学部附属中学校3年の工藤優耀(ゆうよう)君(15)がそんな研究テーマに取り組み、一般財団法人理数教育研究所(事務局・大阪市)が主催する「算数・数学の自由研究作品コンクール」中学校の部の最優秀賞に輝いた。常識を覆す発想は、ある人気アニメの主題歌がヒントになった。

研究のきっかけは昨年7月、数学の授業で先生からコンクールへの挑戦を促されたことだった。夏休みに入ってテーマをあれこれ思案するうち、●西から昇ったおひさまが東へ沈む——という赤塚不二夫原作のアニメ「天才バカボン」の主題歌の一節が頭に浮かび、「『西から昇る太陽』を証明できたら常識を覆す面白い研究になる」と考えた。

まず三平方の定理を使った計算で、高い所ほど地平線までの距離が長くなることを証明。西の地平線に太陽が沈んだ直後に素早く高所に行けば再び太陽が地平線から顔を出すと考え、50秒で地上350メートルの展望台に到達する東京スカイツリーのエレベーターで実現性を検討した。

計算では地球を半径6400キロメートルの完全な球体、スカイツリーの位置を北緯36度などと仮定。地上で日没を見た瞬間にエレベーターに乗ると、50秒後に何メートルまで上がれば太陽が再び見えるかを三角比や理科の知識も駆使して計算した結果、「35メートル」という解を得た。

つまりスカイツリーのエレベーターなら計算上は余裕で西から昇る太陽が見られることがわかった。地上350メートルの展望台では、地上での日の入りから約160秒後まで太陽が見えていることも算出。さらに、日の入りからの経過秒数と西から昇る太陽を見るのに必要な地上からの高さの関係式まで導き出した。

面白い発想ですね。でもそれ以上に工藤君の「気づき」が素晴らしいですね。これからの時代、この「気づき」がとても大切になります。「気づき」の力は、与えられ、指示されている人には育たない力です。何事も自分で考え、行動して初めて育つものです。「してもらう させられる人から する人へ」。「する人」の大切さを忘れないで!!